



2023年11月13日

各 位

会社名 味の素株式会社  
代表者名 代表執行役社長 藤江 太郎  
(コード番号 2802 東証プライム)  
問合せ先 執行理事 バイオフィーマサービス部長 大竹 康之  
(TEL. 03-5250-8111)

## 米国 Forge Biologics Holdings 社の全持分取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会にて、当社の連結子会社である味の素北米ホールディングス社（以下「ANH 社」）を通じて、米国遺伝子治療薬 CDMO<sup>\*1</sup> の Forge Biologics Holdings, LLC（以下「Forge 社」）の全持分を約 554 百万ドル（約 828 億円）で取得し完全子会社化すること（以下「本買収」）を決議し、本日付で本買収に係る合併契約を締結いたしました。

### 1. 本買収の目的

当社は今年 2 月に発表した中期 ASV 経営 2030 ロードマップにおいて、アミノサイエンス<sup>®</sup>の強みを活かした 4 つの成長領域を掲げており、ヘルスケア領域はその 1 つとなります。ヘルスケア領域では、アミノ酸及び低分子医薬 CDMO の既存事業の確実な成長に加えて、核酸医薬・バイオ医薬品 CDMO 事業や再生医療・抗体用培地、メディカルフード事業等による成長加速を見込んでいますが、更に中長期的な視点から、先端モダリティにおける成長の布石として、遺伝子治療薬 CDMO を次世代の戦略事業の一つとして位置付けています。

遺伝子治療領域の中でも、安全性の高い、アデノ随伴ウイルス（Adeno-Associated Virus、以下「AAV」）<sup>\*2</sup> を用いた治療方法は、米国を中心に 100 件以上の臨床試験が行われるとともに、7 つの新規医薬品が承認されており、今後の臨床試験数の増加とそれに伴う承認薬の増加によって、遺伝子治療薬 CDMO 市場の拡大が見込まれています。しかしながら、AAV ベクター製造には、高度な技術的ノウハウと専用の製造設備が必要になる等、参入障壁があり、アミノサイエンス<sup>®</sup>を活かした技術的差別化が可能な市場であり、また、需要量が供給量を上回る状況が当面続くと思われているため、当社はこれまで同遺伝子治療領域への参入の機会を検討して参りました。

Forge 社は、遺伝子治療薬製造バリューチェーン上の 2 つの要所である AAV 製造とプラスミド DNA<sup>\*3</sup> の製造能力を有する遺伝子治療薬 CDMO であり、臨床試験実績のある独自細胞株（イグニッションセル<sup>™</sup>）と特許化された独自差別化技術（pEMBR<sup>™</sup>ヘルパープラスミド<sup>\*4</sup>）による高純度・高収率の AAV ベクター生産技術を有しており、多数のバイオテック企業の初期臨床向けに GMP<sup>\*5</sup> 生産を行うことで、製造実績を確実に積み上げるとともに、ここ数年で急成長・急拡大を遂げており、今後も継続的に成長する見込みです。また、同社は希少疾患の中でも患者数の多い疾患に対応し商業生産が可能な世界最大規模の製造技術・設備を有しており、既存の設備に加え、今後も更なる事業拡大に対応できるよう、同社の製造施設内に拡張可能なスペースを有しております。

本買収により、当社はヘルスケア領域の戦略の方向性に合致する一貫通貫型の遺伝子治療薬製造ケイパビリティを新たに獲得し、プラスミド DNA の製造実績が豊富な当社グループの味の素アルテア社からプラスミド DNA を供給するサプライチェーンの最適化や、当社の特許技術に基づく最適化培地の開発・提供による生産性や品質の向上を含め、アミノサイエンス<sup>®</sup>を活かした当社独自の技術を融合させること、さらに、Forge 社の遺伝子治療薬製造ノウハウの展開による細胞治療領域への参入など、強固な先端医療分野のプラットフォームが構築可能となります。これにより、2030 ロードマップの早期実現を目指し、更に 2050 年を見据えて、これまで培った技術・顧客を基盤として、次世代の事業領域に進出することで、付加価値の高い事業モデルへの転換を進め、ヘルスケア領域の成長加速と高収益化を推進するとともに、人類の健康な生活に貢献してまいります。

\*1 CDMO

製造受託とともに、製造方法の開発を受託・代行する事業・会社 (Contract Development & Manufacturing Organization)

\*2 アデノ随伴ウイルス (AAV)

病原性がなく、分裂中・静止中にかかわらず細胞にゲノムを送り込めるため、遺伝子治療に利用される。欠陥のある遺伝子をもつ細胞に正常な遺伝子を効率的に届けて、正常なタンパク質を合成させることができる。遺伝子を安全かつ容易に患者の細胞に届けることができるため、多くの病気の治療可能性が示唆されている。

\*3 プラスミドDNA

細菌や酵母の細胞内にある、自分でコピーをつくり出すことができる小さなDNAの塊で、哺乳類細胞に目的の遺伝子を届けるために技術的に改変されたもの。このプラスミドDNAに目的の遺伝子を入れ、細胞内で働くようにするために利用できる。

\*4 ヘルパープラスミド

AAVの殻に目的の遺伝子を挿入するためのタンパク質の遺伝子が入ったプラスミドDNAで、AAVベクターを製造する際に使用される。

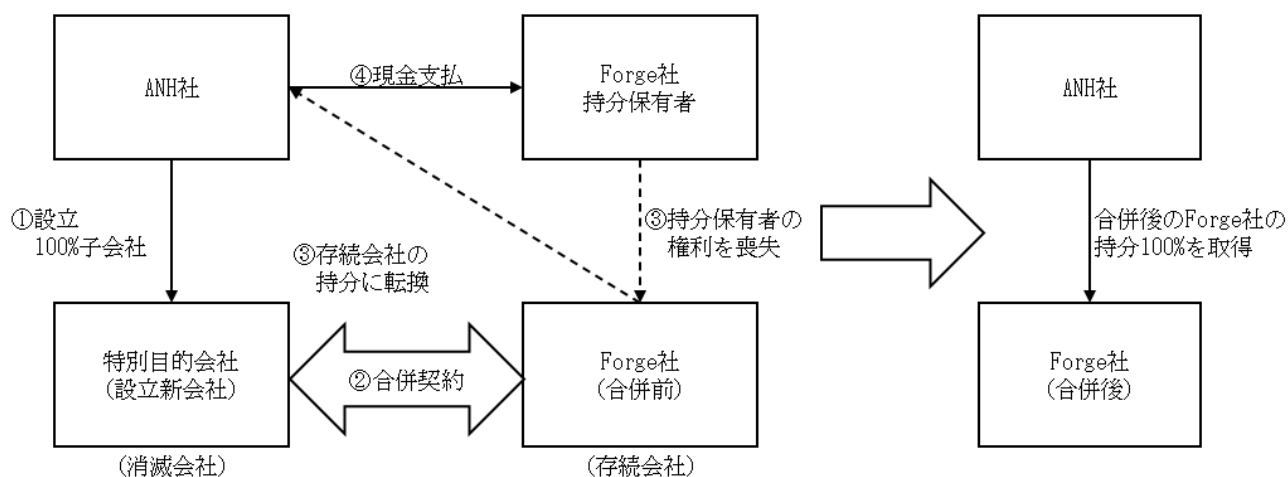
\*5 GMP

医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

## 2. 本買収の方法

本買収は、米国デラウェア州法の規定に従い、Forge社を存続会社、特別目的会社（設立新会社）を消滅会社とする、現金を対価とした「逆三角合併」の方法により行います。当該合併により、ANH社が保有する特別目的会社の全持分が存続会社Forge社の持分に転換されると同時に、現Forge社の全持分は消滅し、現Forge社の持分保有者は、ANH社より合併対価として現金を受け取ります。これにより、ANH社は、合併後の存続会社Forge社の発行済み持分の100%を取得し、存続会社Forge社はANH社の完全子会社となります。

### <本件スキーム図>



### 3. 異動する子会社（Forge社）の概要

(1)	名 称	Forge Biologics Holdings, LLC		
(2)	所 在 地	アメリカ合衆国オハイオ州グローブシティ市		
(3)	代表者の役職・氏名	社長兼CEO Timothy J. Miller		
(4)	事 業 内 容	遺伝子治療薬 CDMO 遺伝子治療薬の開発		
(5)	資 本 金	244 百万米ドル（※1）		
(6)	設 立 年 月 日	2020 年		
(7)	主要な持分保有者及び持分比率	Perceptive Xontogeny Venture Fund, LP	23.7%	
		RA Capital Healthcare Fund, L.P.	10.7%	
		Drive Capital Fund III, L.P.	9.7%	
		Timothy J. Miller	8.2%	
		Drive Capital Overdrive Fund II, L.P.	5.7%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2020年12期	2021年12期	2022年12期
	連結純資産	30,853 千米ドル	117,889 千米ドル	163,951 千米ドル
	連結総資産	32,968 千米ドル	140,162 千米ドル	222,391 千米ドル
	連結売上高	0 千米ドル	2,133 千米ドル	29,982 千米ドル
	連結営業利益	▲5,309 千米ドル	▲31,596 千米ドル	▲42,482 千米ドル
	親会社株主に帰属する当期純利益	▲5,051 千米ドル	▲29,791 千米ドル	▲41,635 千米ドル

※1：2023年9月末時点。優先持分を含む。

### 4. 持分を取得する連結子会社（ANH社）の概要

(1)	名 称	味の素北米ホールディングス社 (英名:Ajinomoto North America Holdings, Inc.)
(2)	所 在 地	アメリカ合衆国カリフォルニア州オンタリオ市
(3)	代表者の役職・氏名	社長 坂本 次郎（さかもと じろう）
(4)	事 業 内 容	持株会社
(5)	資 本 金	— (なお、払込等の額は資本金ではなく資本剰余金にて、1,267 百万米ドル計上されております。)
(6)	大株主及び持株比率	味の素株式会社 100%

5. 取得持分数、取得価額及び取得前後の所有持分の状況

(1) 異動前の所有持分数	0口 (所有割合：0.0%)
(2) 取得持分数	1口 (※2)
(3) 取得価額	Forge社の持分取得費用：約554百万米ドル (約828億円) (※3) アドバイザー費用等 (概算額)：約10億円 合計 (概算額)：約838億円
(4) 異動後の所有持分数	1口 (※2) (所有割合：100.0%)

※2：本買収により、特別目的会社の持分1口が存続会社Forge社の持分1口に転換されます。

※3：持分取得費用は、合併契約に定める本買収実行時の価格調整を実施した金額となる予定です。

6. 日程

(1) Forge社取締役会決議日	2023年11月6日
(2) 当社取締役会決議日	2023年11月13日
(3) 契約締結日	2023年11月13日
(4) 本買収実行日	2023年12月下旬 (予定) (※4)

※4：本買収は、米国における規制法令上の認可等の取得、その他合併契約に定める一般的な前提条件が充足されることを条件として実行されます。

7. 今後の見通し

本買収による当社の当期の連結業績に与える影響につきましては、軽微です。また、来期の連結業績予想につきましては、当期末決算発表時にお知らせいたします。

注：本開示においては、1米ドル=149.51円 (2023年10月31日時点のレート) で換算しております。

以上